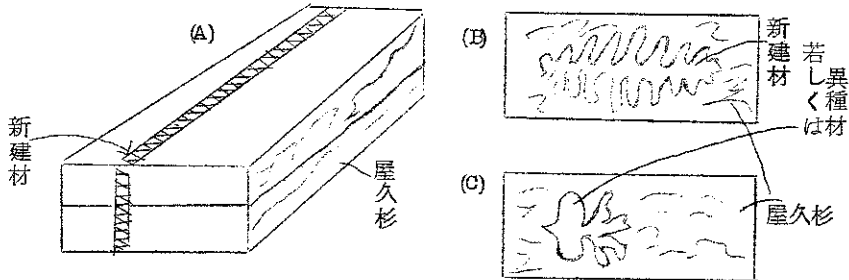


1. 彫り込み法
2. ミシン鋸によつて挽抜いて嵌め込む法

例



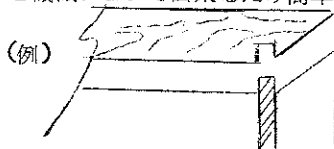
ミシン鋸によつて挽抜く場合、屋久杉と新建材若しくは異種材の接着は加工中、剝離しない程度で膠、醋酸ビニール系接着剤でよい。

4. 成果 屋久杉材に新建材若しくは異種材の象嵌組合せによつて斬新的な工芸品の出現をみた。

今后象嵌模様加工，材料選定着色の問題を継続研究中である。

(18) 取り付枿による留構造の研究

1. 担当者 工業技師 堀之内 輝 男
2. 目的 従来の工作法を，機械加工によつて，簡易に留接工作するを目的とする。
3. 概要 今迄の隠蟻組包蟻組による留加工を用いて工作しているが，丈夫な反面加工が非常に困難であり機械加工では無理な点がある。
これを機械によつて出来るだけ簡単に留加工した。



4. 成果 留構造の簡易化，それに寸法の正確さにより機械加工によつての留接工作は一応効果があつたが，強度の問題で枿の大小，取付方法接着技術等研究の余地があると思う。

(19) 木材に対する Vista-P の防水試験

1. 担当者 工業技師 山田 式 典
2. 目的 フローリング材として床面に施工された木材が吸湿をなすと剝離等種々の不都合が生ずる。従つて，どうしても防湿の必要がある。しかるに今回は油性